

「ジャムの日」 制定記念

『4月20日は、

小諸ジャムを食べる日』

▼問い合わせ先 農林課 6次産業化推進係

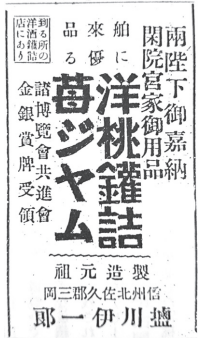


◆「ジャムの日」と小諸の関係
昨年7月に日本ジャム工業組合（東京都千代田区）は、4月20日を「ジャムの日」に制定しました。

この日は、佐久地域に桃づくりを広めた塩川伊一郎氏（旧三岡村）が製造したジャムが明治43年に明治天皇へ献上されたことに由来します。明治初期に始まったジャムの製造が、塩川氏の技術により皇室献上品として認められるまでになったことは偉大な功績であり、日本のジャム産業の基礎になったと考えられています。

◆小諸 ジャムを食べる日
市では、地産地消推進協力店等の協力により市内で「ジャムを食べる」市民参加型のイベントを計画しました。

協力店等で行うサービスの一部として、ジャムを使った「特別メニュー」を期間限定で提供されます。また、地元素材を使った「ジャムづくり教室」は、子育て中の方にも気軽にご参加いただけるよう託児を設けて開催します。さらに、小諸市立図書館では、ジャムの作り方などの本を集めた特別コーナーを設ける予定です。この機会にご家庭の食卓をジャムでいっぱいにしてみてはいかがでしょうか。



宮内庁献上されていた記録
出典『塩川伊一郎評伝』

市民参加型のイベント内容

外食でもジャムを食べよう!!
お店での食事でもジャムを食べていただくこと、地産地消協力店等の協力で特別メニューを提供いただきます。

手作りジャムを作ってみませんか!!

- ジャムづくり教室
- ◆日時 4月20日(水) 午前10時～午後1時
- ◆会場 小諸市文化センター
- ◆参加費 2,000円（昼食代込み）
- ◆定員 20人
- ◆講師 食ママ倶楽部 高地 清美さん
- ◆持ち物 ふきん、エプロン、三角巾
- ◆申し込み 農林課 6次産業化推進係

SNSで、情報を発信しよう!!
各ご家庭でのジャムの調理方法はさまざまです。皆さんの調理方法をSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)で紹介して、「ジャムの日」を皆さんで盛り上げましょう。

【今年は、「みはらし交流館」で開催します】

菜の花まつり 2016

4月の終わりから約1か月間、会場周辺に約1haの菜の花畑が広がります。菜の花畑を見ながら、周辺のガーデンも観覧できます。ぜひ、お出かけください。

- ◆日時 5月8日(日) 午前10時～午後1時
- ◆場所 みはらし交流館（糠地）
- ◆内容 菜の花油を使った振る舞い料理、地元特産品の販売、会場周辺の菜の花畑及びガーデン散策など

▼問い合わせ先 農林課 6次産業化推進係